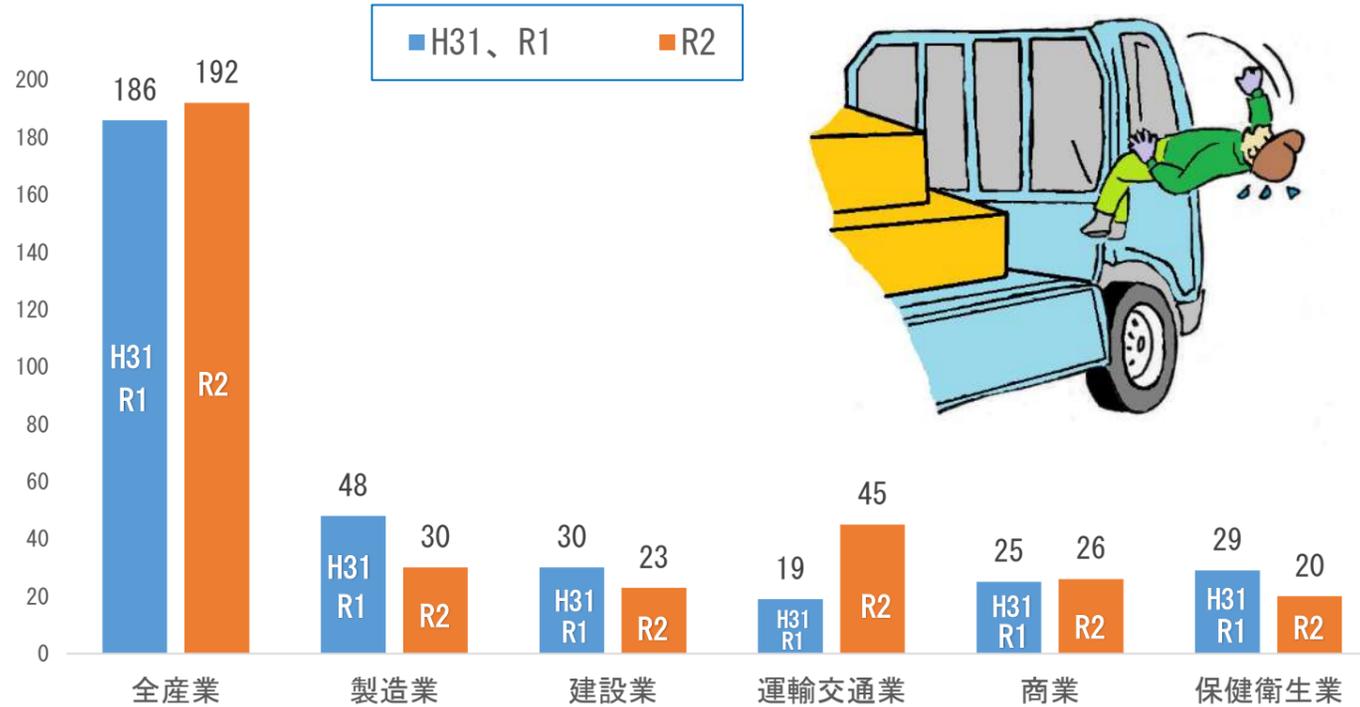


業種別



当署管内における令和2年の休業4日以上労働災害の発生状況は、令和2年8月末時点において、全産業では192人であり、前年同期の186人と比べて、3.2%増加しています。

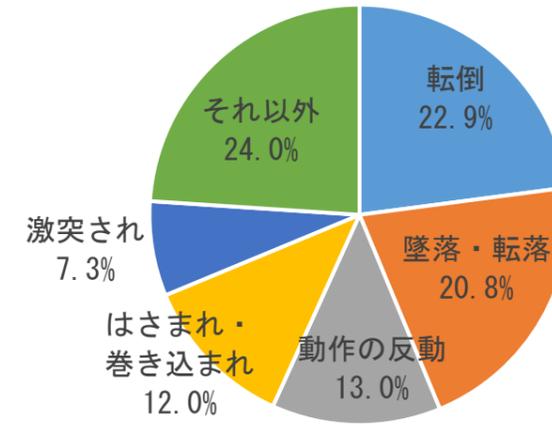
業種別では、「製造業」で30人（対前年比-18人、-37.5%）、「建設業」で23人（対前年比-7人、-23.3%）、「保健衛生業」で20人（対前年比-9人、-31.0%）と多くの主要業種で前年同期よりも労働災害が減少しておりますが、これとは逆に、「運輸交通業」は45人（対前年比+26人、+136.8%）と急増しました。

なお、運輸交通業の労働災害が増えた背景には、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、宅配貨物の取扱い個数が増加したことが原因と考えられます。

従って、人手不足、高齢化及び過密なスケジュール等の種々の課題がある中で、いかにして災害発生リスクを減らすことができるかが重要です。

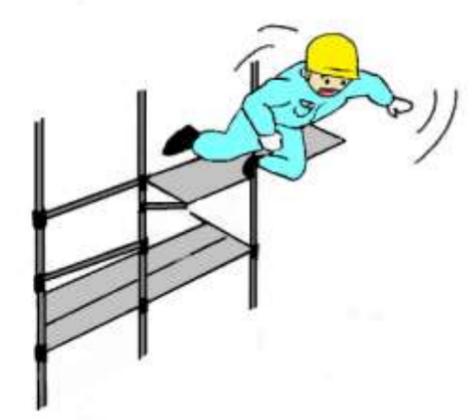
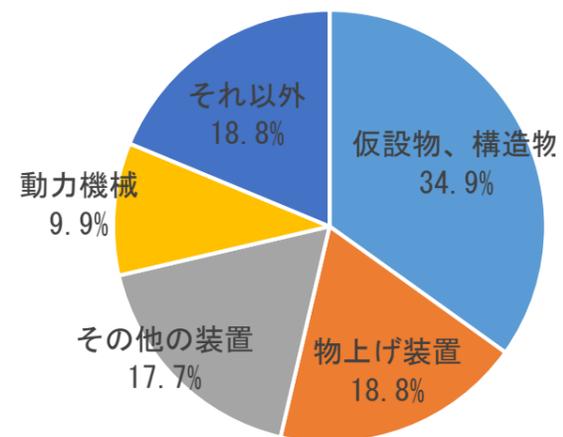
また、運輸交通業以外の業種では、新型コロナウイルス感染拡大のため、営業時間を短縮し、空いた時間を利用して店舗のメンテナンス作業を行っていたときに被災した労働災害等が発生しています。

事故の型別



事故の型別では、「転倒」（44人、22.9%）が最も多く、次いで「墜落・転落」（40人、20.8%）、「動作の反動」（25人、13.0%）、「はさまれ・巻き込まれ」（23人、12.0%）、「激突され」（14人、7.3%）の順で災害が発生しています。

起因物別



起因物別では、「仮設物・構造物」（67人、34.9%）が最も多く、次いで「物上げ装置」（36人、18.8%）、「その他の装置」（34人、17.7%）、「動力機械」（19人、9.9%）による労働災害が数多く発生しています。

令和2年の熱中症の発生状況

当署管内における令和2年の熱中症による休業1日以上労働災害は、8月末時点で6人となっています。(下表を参照。)

暑さが徐々にやわらいでくる時期ですが、涼しい日が数日間続いて急に気温が上がると、熱中症になる場合があります。

なお、9月は雨や台風が多く、湿度が高くなることもあり、熱中症には引き続き注意が必要です。



発生月	業種	年齢	性別	概要	最高気温	最高WBGT値
5月	ガソリンスタンド	36	男性	ガソリンスタンドで、給油作業を行っていたところ、具合が悪くなり関節の痛みが出現した。(休業見込み5日)	25.8℃	21.9℃
6月	卸売業	29	女性	倉庫内で、台車を使って段ボールを移動させているとき、具合が悪くなった。(休業見込み1日)	25.7℃	25.9℃
7月	クリーニング	48	男性	倉庫内で、トラックの荷台にリネン品の積み込み作業中、具合が悪くなり、体が痙攣した。(休業見込み9日)	32.1℃	31.4℃
8月	金属製品製造業	21	男性	工場内で、めっき作業中、手足が痺れ、両足がつり、手指が硬直した。(休業見込み1日)	33.3℃	32.4℃
8月	ゴルフ場	69	女性	ゴルフ場で、キャディをしていたところ、体調が悪くなった。(休業見込み7日)	34.1℃	32.4℃
8月	ビルメンテナンス	63	男性	駐車場で、清掃作業を行った後、身体が痺れ、頭痛があり、嘔吐した。(休業見込み7日)	30.5℃	32.1℃

※ 労働者死傷病報告(様式第23号、様式第24号)による。

※ 最高気温は気象庁のホームページより。最高WBGT値は環境省のホームページより。

動力機械の「はさまれ・巻き込まれ災害」の発生状況

当署管内における令和2年の動力機械の「はさまれ・巻き込まれ」による休業4日以上労働災害は、8月末時点で7人となっています。

なお、8月には機械修理業で死亡労働災害が発生しました。(下表を参照。)

動力機械の「はさまれ・巻き込まれ災害」では、手指の打撲・捻挫にとどまらず、骨折・切断に至って後遺症が残る場合や死亡に至る場合がありますので、枠外の「安全に作業を行うためのポイント」を参考に、必要な労働災害防止対策を取り組んでいただきますようお願いいたします。

発生月	業種	発生状況
1月	農業	収穫機械の清掃中、機械を稼働させて、残渣を取り除いていたとき、機械と処理刃との間に手指を挟んだ。(左手中指挫減創)
1月	食料品製造業	充てん機械の調整中、機械を稼働させながら、包装シートの位置を合わせているとき、レールと圧着ヒーターとの間に手を挟んだ。(右手挫傷・熱傷)
3月	社会福祉施設	耕運機の操作中、前進して耕しているとき、操作ミスで後進し、耕運機の刃に足が巻き込まれた。(右脛骨近位骨折)
4月	農業	葉刈機を操作しようとして、電源を入れたとき、ギアがニュートラルになっていたため、被災者に向かって葉刈機が後進し、葉刈機とコンテナとの間に胸を挟んだ。(肋骨骨折)
6月	食料品製造業	自動開缶機を調整中、安全装置に工具を噛ませて短絡し、シャフトの調整を行っていたところ、工具が外れたため、自動開缶機が作動し、シャフトに指を挟まれた。(左手薬指開放骨折)
7月	食料品製造業	粉碎機で原料の加工作業中、機械を作動させた状態で、原料を取り出していたとき、刃に手を巻き込まれた。(左中指切断)
8月	機械修理業	出張先の敷地内で建設機械の修理作業中、当該敷地内で作業していた移動式クレーンとトラックとの間に腹部を挟まれ、死亡した。(腹部圧迫)

安全に作業を行うためのポイント

- 機械の調整や掃除を行う場合は、運転を確実に止めましょう。
- 作業開始前に、機械の状態を点検し、作業手順書等で安全な作業方法等を確認しましょう。
- 機械トラブル発生時の対応を日頃から再確認しましょう。

